

むっ みんな つう しん 夢民通信

平成 20 年 10 月 1 日発行

夢民通信 第 4 号

『夢民通信』第 4 号をお届けします。

例年よりも残暑が厳しかった日々もようやく落ち着き、いつものような肌寒さを感じるようになりました。相談活動を通じて各地の関連機関の皆さんと交流させていただく機会も多く、その度に人と人とのつながりの大切さや、思いを共有できる人たちが活動を同じくする地域に一人でも多くいることの心強さを実感する毎日です。この石狩管内地域でも魅力ある活動を展開している所や、所属を超えた地域でのつながりを作り、継続しているなど、各地の皆さんが活発に活動されています。少しずつでも地域の元気な取り組みを、この通信を通じてお届けできましたら幸いです。

障がい福祉に関連する施策においては大きく揺れ動いている状況が続いている昨今ですが、施策や制度に関わらず、地域でのつながりから得られるものがたくさんあることを大切に感じながら、これからも活動を続けていきたいと考えています。

支援センター夢民 活動報告 (7月~9月)



7 月	<ul style="list-style-type: none">・入所施設利用者意向調査説明会、聞き取り調査、調査票集計・地域自立支援協議会（当別町、千歳市）・圏域障がい者総合相談支援センター全体会・平成 20 年度相談支援従事者研修 演習指導
8 月	<ul style="list-style-type: none">・圏域障がい者総合相談支援センター長会議・障がい者等相談支援実務担当者懇談会・第 2 回石狩管内市町村障がい福祉担当者情報交換会・平成 20 年度第 3 回石狩圏域相談支援ネットワーク会議・地域自立支援協議会（千歳市）
9 月	<ul style="list-style-type: none">・平成 20 年度相談支援従事者研修 演習指導・平成 20 年度第 1 回石狩圏域障がい者地域生活支援連絡会議・札幌圏障がい福祉計画等圏域協議会・地域自立支援協議会（当別町、千歳市）・圏域障がい者総合相談支援センター全体会

この他、随時市町村や事業所への訪問を行っています。

石狩圏域内の社会資源紹介

今回の社会資源紹介は、江別市内にある就労継続支援(B型)事業所を紹介したいと思います。



NPO 法人 地域(まち)で楽しく暮らすネットワーク

『コミュニティ・カフェ 笑くぼ』



江別市の商業活性化のために作られたコミュニティ商業賑わい市場『江別ぶらっとよってけ かってけ たべてけ屋』(新鮮な野菜、手作り品などの展示販売も行っている)の中に『笑くぼ』さんはあります。

『笑くぼ』さんは、平成18年10月にオープンし、今年6月に就労継続支援事業所に移行しました。開設以来、障がいのある方や地域で困っている方の働く場として、地域の方達が気軽に集える場として、地元の食材を使ったこだわりの料理を提供するレストランとして、地元で根ざした活動を続けています。

現在7名の当事者スタッフの方が登録しており、女性の方が多いそうです。主に食器洗いや片付け、材料を出したり計量したりという厨房内の仕事の他、外販や注文を聞いたり料理を運んだりという接客の仕事もしています。

『笑くぼ』さんでは現在一緒に働いてくれる当事者スタッフの方とボランティアを募集中です。興味のある方は、上記連絡先までお問い合わせ下さい。



住所 ; 江別市野幌町 55-5

Tel・Fax ; 011-389-3737

URL ; <http://machi-kura.net>

営業時間 ; 火~土曜日 11:00~15:00



スパゲッティ
(ナポリタン)セット



ピザセット



『笑くぼ』さんの自慢は、なんといっても“地元の安心・安全・新鮮な食材”を使った“手作り”の美味しい料理でしょう。小麦は江別産の「ハルユタカ」、野菜も地元農家で作られたものを使用しています。そして、「ピザ」や「カレーパン」の生地、ソースなど全て手作りです。

『笑くぼ』さんの元祖「カレーパン」などはお持ち帰りも可能。クッキーやラスクなどは、『野幌商店街軒先ジャック』や『江別鳴子祭り』、バザーなどにも出品しているそうですので、ぜひ一度食べてみて下さい。

江別にお越しの際は、ぜひ『笑くぼ』さんのこだわり料理を食べに足をお運び下さい。

『コミュニティ・カフェ 笑くぼ』の皆さん、お忙しいところご協力いただき、ありがとうございました。事業内容など詳細は、直接『笑くぼ』さんまでお問い合わせ下さい。

石狩圏域内の社会資源については、支援センター夢民のホームページにも掲載しております。



ちいきの芽

安心して暮らせるまちづくりへ…



～ 『精神障がい者ケアマネジメント学習会』(江別市) ～

今回は、人材育成や地域のネットワーク作りに着目して、江別市内で開催されている学習会をご紹介します。ご紹介します。

『精神障がい者ケアマネジメント学習会』は、精神障がいのある方の地域での暮らしを支援するために協力・連携し合い、専門職のスキルアップを図ることを目的に、江別市障がい福祉係・江別市保健センターと江別保健所が中心となり企画運営している学習会です。

江別市及び近郊の精神障がい者の相談支援業務に携わっている方を対象として、市内の精神障がい福祉に関連する相談支援機関、通所の事業所、居宅の事業所、病院、市役所職員、保健所職員などが集まって勉強をしています。

今年度は外部講師を招き、全6回のシリーズでケアマネジメントの講義と演習を行う学習会が開かれています。具体的には、第1回目は精神障がい者の生活障がいやケアマネジメントの講義、第2回目は事例を用いて対象者理解を深め、第3回目はチームでの仮のケアプラン作成、第4回目は社会資源の整理、第5回目は実例をもとにしたケアマネジメントとケアプラン作成、第6回目はケアプランのモニタリングという内容です。



9月に第3回目が行われ、参加者がそれぞれで立てた仮のケアプランをもとに、それらをまとめて最終的にグループで1つの仮ケアプランを作成しました。本人の希望する生活、それに向けての取り組みをまとめ、キャッチフレーズや絵、切り抜きなどを用いて各グループ本人に分かりやすく仮ケアプランを作成し、プレゼンテーションを行いました。

同じ事例について検討しているにもかかわらず、着目する点が違ったり、計画のポイントが違ったりして、とてもおもしろく、参考になりました。

学習会には第1回から参加させていただいていますが、参加メンバーが増えてにぎやかになっただけでなく、参加している方々の笑顔が増えたように感じます。

学習会の企画運営は、講師の選定から学習会の準備、反省会など大変忙しいと思いますが、地域を支える個人のスキルアップだけでなく、顔が見えて気軽に声が掛け合えるネットワークができ始めているというのは、学習会の効果ではないかと感じています。これからも、繋がりを大切にしたい学習会を続けていただきたいと思っています。



支援センター夢民では、地域支援活動の取り組み・活動など、夢民通信で取り上げて欲しいという事業所さんを募集しています。お気軽に支援センター夢民までご連絡下さい。



お知らせ・ご案内

前号に引き続き、DVD 貸し出しについてご案内します。詳しくは支援センター夢民まで、お問い合わせ下さい。

DVD の貸し出しについてのお知らせ

『平成 18 年度行動援護従事者養成中央セミナーDVD』

行動援護従事者養成のセミナーが収録された DVD (全 7 巻)

【内容】

- ・人間科学の探求と行動援護
- ・行動理解の基礎理論 1、2
- ・アセスメントと個別支援計画 1、2
- ・個別支援の展開と新技術の共有 1、2



『北海道障がい者雇用最前線～その事例と支援～DVD』

北海道の障がい者雇用の取り組みや事例などが収録された DVD (全 1 巻)

【内容】

- ・トライアル雇用制度
- ・ジョブコーチ派遣
- ・就業に伴う生活支援
- ・ジョブチャンスボード
- ・就労継続支援事業 A 型
- ・各機関との連携について



どちらとも、貸し出し期間は 10 日間、料金は無料となっています。

なお、枚数に限りがあるためご希望の期間が重なった場合など、貸し出しができないことがあります。

編集後記

今回の通信では、江別市の地域に根ざした活動をしている事業所と学習会の取り組みをご紹介させていただきました。ご一読いただくと幸いです。

情報発信したいことなどがありましたら、支援センター夢民までご連絡下さい。

《発信元》

石狩圏域障がい者総合相談支援センター夢民

〒061-1276

北海道北広島市大曲緑ヶ丘 1 丁目 9-1

Tel ; 011-377-6200 Fax ; 011-377-7007

e-mail ; ishi-ken@workerbee.biz

ホームページ ; <http://www.msknet.ne.jp/ishikarikeniki/>

